

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク演習V (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	田代 幹康 / 星野 弘美 / 矢野 亮		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク演習は、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴと1年次から4年次まで断続的に学習するよう構成されています。これらの演習の主な学習方法は、グループ討議、文献調査、社会調査、情報収集、面接技法、ロールプレイ、モデリング等の多様な方法を用いて社会福祉実践の知識と技能を具体的に学習することを目的としています。</p> <p>ソーシャルワーク演習Ⅴでは、ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅳで学習した、ソーシャルワーク実践に必要な知識と技術に関する学び、またソーシャルワーク演習Ⅳにおいて整理したソーシャルワークのコンピテンシーを踏まえ、実践活動に照らし合わせて展開される社会福祉士の活動とそこで求められる価値、知識、技術について事例を通じて、また履修者同士、グループディスカッションを通じて理解を深めます。</p>		
8. 学習目標	<p>ソーシャルワーク演習Ⅳが終了した時点で、下記の学習目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ソーシャルワークに関する事例を用いて、必要な知識と技術を言語化することができる。</li> <li>2) ソーシャルワークに関する事例とグループでのディスカッションを通じてソーシャルワークの展開について具体的に理解を深めることができる。</li> <li>3) ソーシャルワークに関する事例とグループでのディスカッションを通じてソーシャルワークの価値、基本的な視点と知識、クライアントに対する多面的な理解を深めることができる。</li> <li>4) グループ活動や他者との意見交換などを通して自己の思考を整理し、発表することができる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題1: 第2回から第5回までの事例検討、またディスカッションを通じて学習できたことをまとめなさい。</p> <p>課題2: 第6回から第10回までの事例検討、またディスカッションを通じて学習できたことをまとめなさい。</p> <p>課題3: 実習事例を用いて、自らの実践からソーシャルワークのコンピテンシーと実践上の姿勢と専門性についてまとめなさい。</p> <p>※上記課題につき、すべてA4用紙 40文字×36行×2枚以内 (科目名、提出日、学籍番号、氏名などを明記すること)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [社会専門]』中央法規出版、2021.2</p> <p><b>【参考書】</b> 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通+社会専門)』中央法規出版、2020.12 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 (共通)』中央法規出版、2020.12 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 (社会専門)』中央法規出版、2020.12</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解)</li> <li>・4つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> <li>・4つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人レポート (課題1～3) 60%</li> <li>2. 演習への参加度・取り組み 40%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としています。目的達成のため、受講生は以下の条件を守って下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講しましょう。受講生には積極的な態度を望みます。</li> <li>2. 自ら進んで教員に質問しましょう。理解できないことをそのまま放っておかないようにしましょう。</li> <li>3. 授業は欠席、遅刻、早退をしないで下さい。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告して下さい。</li> <li>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意して下さい。</li> <li>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話などの操作は緊急時以外、絶対にしないで下さい。</li> </ol> <p>また教員は、以下のことを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行います。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明します。</li> <li>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作ります。</li> </ol> <p>遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。</p>		

13. オフィスアワー	第1回の講義時に担当教員より通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ：ソーシャルワーク演習Vのねらいと単元の解説、授業の進め方について	事前学習	ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅳでの学びを振り返り、学習内容を確認する。
		事後学習	演習内容を整理し、テキストの該当箇所を再確認する。
第2回	役を繰り返す福祉ニーズのあるクライアントへの多機関・多職種による支援を考える(1) ：事例概要の理解及び事例演習への取り組み	事前学習	該当事例を読み問題状況をまとめる
		事後学習	演習課題を通じて見いだせたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第3回	役を繰り返す福祉ニーズのあるクライアントへの多機関・多職種による支援を考える(2) ：事例演習への取り組み及び多角的理解とまとめ	事前学習	演習課題を読み、自己の考えをまとめる。
		事後学習	事例を通じて確認できたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第4回	メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能を考える(1) ：事例概要の理解及び事例演習への取り組み	事前学習	該当事例を読み問題状況をまとめる
		事後学習	演習課題を通じて見いだせたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第5回	メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能を考える(2) ：事例演習への取り組み及び多角的理解とまとめ	事前学習	演習課題を読み、自己の考えをまとめる。
		事後学習	課題1の作成
第6回	子どもや親のSOSに気づき、家庭全体のレジリエンスを高めることを考える(1) ：事例概要の理解及び事例演習への取り組み	事前学習	該当事例を読み問題状況をまとめる
		事後学習	演習課題を通じて見いだせたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第7回	子どもや親のSOSに気づき、家庭全体のレジリエンスを高めることを考える(2) ：事例演習への取り組み及び多角的理解とまとめ	事前学習	演習課題を読み、自己の考えをまとめる。
		事後学習	事例を通じて確認できたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第8回	クライアントが一番気になっている問題から支援を考える(1) ：事例概要の理解及び事例演習への取り組み	事前学習	該当事例を読み問題状況をまとめる
		事後学習	演習課題を通じて見いだせたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第9回	クライアントが一番気になっている問題から支援を考える(2) ：事例演習への取り組み及び多角的理解とまとめ	事前学習	演習課題を読み、自己の考えをまとめる。
		事後学習	事例を通じて確認できたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第10回	災害支援からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える(1) ：事例概要の理解及び事例演習への取り組み	事前学習	該当事例を読み問題状況をまとめる
		事後学習	課題2の作成
第11回	災害支援からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える(2) ：事例演習への取り組み及び多角的理解とまとめ	事前学習	演習課題を読み、自己の考えをまとめる。
		事後学習	事例を通じて確認できたソーシャルワークの専門性についてまとめる。
第12回	実習事例からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える(1) ：実習活動を想起し、事例の基本情報をまとめる	事前学習	実習記録などをもとに、事例を選択する。
		事後学習	基本情報を整理し、事例報告の書式を整える。
第13回	実習事例からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える(2) ：事例において適応(説明)が可能なソーシャルワークのコンピテンシーと基本的な姿勢について解説する。	事前学習	ソーシャルワークのコンピテンシーについて該当するものを抽出する。
		事後学習	確認されたソーシャルワークのコンピテンシーについてその内容を再確認する。
第14回	実習事例からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える(3) ：プレゼンテーションの実施①	事前学習	プレゼンテーションのための資料と内容の確認。他者の事例の内容確認。
		事後学習	発表に対する他者、担当教員からのフィードバックを事例に反映させる。
第15回	実習事例からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える(4) ：プレゼンテーションの実施② ソーシャルワーク演習Vのまとめ	事前学習	プレゼンテーションのための資料と内容の確認。他者の事例の内容確認。
		事後学習	課題3の作成